

【課題整理と対応策の検討】

現状と課題	基本的な方針	対応策	考えられる具体的な取り組み
<p>【現状】 <u>公共交通の利用者の減少</u></p> <p>バスを使わない理由について、アンケートの内容をまとめると・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車、バイク、自転車のほうが良い。 ・時間が合わない。本数少ない。 ・行きたいところに行けない。 ・バス停が遠い。 ・どれに乗ったらいいかわかりにくい。乗り方がわからない。 ・駅での鉄道とバスとの接続が悪い。 ・定時制がない。 <p>一方、自動車利用者は・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷物があるので、車のほうがいい。 ・好きな時間に直接行ける。 ・目的地が多く、車のほうが回りやすい。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性の高い自動車利用の増加、公共交通利用者の減少。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス路線の減少、公共交通空白地域の拡大。 	<p>公共交通の利用促進を実施する。</p>	<p>(1) 利用促進の啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を利用されていない方、潜在需要の獲得。 (車利用から公共交通への転換) ・公共交通を利用されている方の移動の利用回数を増やす。 <p>(2) 利便性の向上</p> <p>(3) 公共交通の利用環境改善。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発チラシの配布、回覧により、通勤者等への公共交通利用を働きかける。 ・イベントでの啓発。 ・商工関係者と協力により、来店客への「公共交通を利用して来てください」の広報。 ・ <ul style="list-style-type: none"> ・ <ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすい路線、ダイヤへの見直し、地元への広報 ・ <ul style="list-style-type: none"> ・バス停の案内表示の充実。IC カード・バスロケ導入、ベンチ設置、バリアフリー化等。 ・
<p>【課題】 今後、宇治市は人口減少・少子高齢化が進むと予想され、公共交通はさらに厳しい状況になると思われる。</p> <p>公共交通利用者の減少を抑えなければ、さらに公共交通が衰退する恐れ。</p> <p>公共交通空白地域では、高齢化の進行に伴い、今後移動困難者が増加する。</p>	<p>移動手段確保の検討を行う。</p>	<p>(1) 需要分析</p> <p>(2) 代替え交通のプラン作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通手段の選定方法。 ・路線、ダイヤの決め方。 ・運賃の決め方。 ・採算性の検証方法。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元ヒアリング ・アンケート調査 ・ <ul style="list-style-type: none"> ・